

令和元年度 事業報告

事業名	実施状況の概要
<p>公益目的事業</p> <p>国際交流・多文化共生の推進</p> <p>(1) 地域の国際化に向けた情報の収集・提供・発信</p>	<p>ア 多言語情報の提供と発信</p> <p>ア) ホームページの運営（県補助事業 1/2）</p> <p>財団の情報を迅速に提供するとともに、地域における国際交流の情報交換や、在住の外国出身者が生活していく上で必要な生活情報の提供等を行うホームページ（日本語・英語・中国語・タガログ語）に、令和元年度はベトナム語ページを新設し運営した。</p> <p>財団ホームページアドレス http://www.torisakvu.or.jp/</p> <p>（事業報告附属明細書 P17 参照）</p> <p>イ) 多言語メールマガジンの配信（県補助事業 1/2）</p> <p>日頃から防災に備える意識づけや社会生活を送るうえでの重要な情報を読者に提供するための携帯電話向けメールマガジンを、英語・中国語・タガログ語・ベトナム語で配信した。（TORIMO：211号～222号、号外1号 計13号を配信）</p> <p>（事業報告附属明細書 P18 参照）</p> <p>ウ) 機関紙の発行（県補助事業 1/2）</p> <p>財団の活動状況や、地域の国際交流事業等の情報を提供する機関紙「とっとり国際通信」130号～133号を発行した。（A4・一部カラー刷り 一部記事については英語・中国語表記 各2,000部）</p> <p>イ 交流拠点の運営と関係機関との連携</p> <p>ア) 本所・倉吉事務所・米子事務所の運営（県補助事業 10/10、一部県委託事業）</p> <p>全県的な国際交流の推進のため、各地域の拠点となる施設として財団本所、倉吉事務所（鳥取県中部総合事務所別館内）、米子事務所（米子コンベンションセンター4階）を設置・運営した。令和元年度は、県から外国人相談窓口業務の委託を受け、本所の相談窓口の拡充、また県の相談窓口との一体的な運用のため米子事務所を1階から4階に移転するとともに、翻訳機器やTV会議システムなどの整備を行った。各拠点では一般図書、日本語教材、視聴覚資料、海外新聞及び雑誌を購入し、来館者の閲覧や貸し出しに供したほか、毎月第二日曜日（14:00～16:00）に本所において、在留資格の変更等の手続きについて申請取次行政書士がボランティアで相談に応じる窓口を運営した。</p> <p>（事業報告附属明細書 P18～20 参照）</p> <p>イ) 関係機関との連携（自主事業）</p> <p>i) 連絡調整</p> <p>県内に拠点を置く民間国際交流・協力関係者及び県・市町村担当者と、地域の国際交流の活性化のために連携して活動していくための意見交換（連絡会議）を行った。また中国・四国地区地域国際化協会連絡協議会のブロック会議及び研修会に参加し情報交換につとめた。併せて、県内の高等教育機関における外国人留学生の円滑な受入れと地域社会と連携した国際交流活動を図ることを目的とする鳥取県留学生交流推進会議に参加した。</p> <p><国際交流・協力団体連絡会議の開催></p> <p>民間団体同士、また県・市町村との協力関係の構築に有益な機会となった。また、東部、中部、西部それぞれに関心の高いテーマの講話と交流会を取り入れた。</p>

りと等々の相談に応じるとともに、必要に応じて専門機関等への橋渡しを行った。（他の言語については多言語対応アプリを搭載したタブレットにより対応）

また、ホームページやメールマガジン、機関紙といった情報ツールによる発信情報等の翻訳、国際理解を促す財団事業の企画、運営のほか学校や地域の要請に応じた国際理解講座の講師をつとめるなど地域の国際交流事業にも積極的に参画した。（英語圏出身1名、中国語圏出身3名、ベトナム出身2名）

<配置状況>

- 本所 英語対応 月曜日 13:30～18:00、木曜日 15:00～18:00、
金曜日 15:30～18:00
中国語対応 月・火・木・金曜日 9:00～17:00、水曜日 9:00～12:00
ベトナム語対応 水曜日 9:00～17:00
- 倉吉事務所 中国語対応 水曜日 13:00～17:00
ベトナム語対応 金曜日 9:00～17:00
- 米子事務所 中国語対応 火・水曜日 9:00～12:00、木曜日 9:00～17:00
ベトナム語対応 月曜日 9:00～17:00

イ) 日本語クラスの運営（県補助事業3/4）

県内に在住するいろいろな立場・国籍の外国出身者が、日常生活に役立つ日本語を共に楽しく学べる場として、毎週水曜日または日曜日に専任講師とボランティアパートナーによるクラス形式の日本語教室を運営している。クラスに参加しにくい人などには、希望の日程にマンツーマンでボランティアが対応するプライベートレッスンを実施している。

<東部>

形式：基礎①・基礎②・初級（会話・生活漢字）・中級・子ども日本語クラスの6クラス

期間：第1期 4月14日～8月11日の毎週日曜日（全18回）

第2期 9月8日～12月22日の毎週日曜日（全16回）

場所：財団本所（基礎①・②、子ども日本語コース）

高齢者福祉センター（初級・中級）

受講者数：第1期 174名、第2期 170名（のべ人数）

<中部>

形式：水曜日 基礎 日曜日 基礎、初級 の3クラス

期間：第1期 4月10日～7月31日の毎週水曜日（全16回）

4月7日～7月28日の毎週日曜日（全14回）

第2期 9月5日～11月28日の毎週水曜日（全13回）

9月1日～11月17日の毎週日曜日（全12回）

場所：水曜日 県中部総合事務所別館相談室

日曜日 県立倉吉体育文化会館

受講者数：第1期 65名、第2期 79名（のべ人数）

<西部>

形式：基礎・初級の2クラス

期間：第1期 4月14日～7月21日の毎週日曜日（全12回）

第2期 9月8日～12月15日（全12回）

場所：米子コンベンションセンター会議室ほか

受講者数：第1期 75名、第2期 84名（のべ人数）

<個別学習>

東部 13組、中部 6組、西部 5組
(事業報告附属明細書P20 参照)

ウ) 専門通訳ボランティアの派遣 (県委託事業)

医療通訳ボランティア (要請に応え医療・保健機関等に派遣) 及びコミュニティ通訳ボランティア (保育園や学校、福祉分野、在留資格相談など言葉の支援の要請が多様化している現状でのより具体的な支援として、外国出身者がより円滑な社会生活を行うため、また公的機関等での適切な制度説明や手続きを促すために必要な言葉の支援) を専門通訳ボランティア派遣として一体的に運営することで、ワンストップサービスとして利用者目線で利便性が高まる工夫を行っている。登録者の技術の向上と活動意欲の維持のための研修プログラムは、イ 担い手となる人材の育成において実施した。

・医療通訳ボランティア登録者

R2.3月末現在 英語42名、中国語23名、タガログ語2名、モンゴル語1名、韓国語1名 計69名 (うち2名は2言語登録)

・コミュニティ通訳ボランティア登録者

R2.3月末現在 英語53名、中国語27名、タガログ語7名、韓国語4名、台湾語2名、ベトナム語1名、モンゴル語1名、スペイン語1名、ポルトガル語1名、タイ語1名 計98名 (うち7名は2言語登録)

*令和元年度派遣実績 R2.3月末現在 () は昨年度派遣実績の数字

	種別	東 部	中 部	西 部	計
英 語	医療	(83) 71件	(12) 22件	(3) 27件	(98) 120件
	コミュニティ	(24) 27件	(17) 16件	(1) 0件	(42) 43件
中 国 語	医療	(37) 16件	(23) 6件	(1) 8件	(61) 30件
	コミュニティ	(6) 10件	(7) 4件	(0) 4件	(13) 18件
タガログ語	医療	(0) 0件	(0) 0件	(0) 0件	(0) 0件
	コミュニティ	(0) 1件	(8) 7件	(3) 1件	(11) 9件
そ の 他	医療	(4) 1件	(0) 15件	(0) 0件	(4) 16件
	コミュニティ	(1) 0件	(7) 24件	(0) 0件	(8) 24件
計	医療	(124) 88件	(35) 43件	(4) 35件	(163) 166件
	コミュニティ	(31) 38件	(39) 51件	(4) 5件	(74) 94件

「その他」はすべてベトナム語 (コーディネーターを派遣)

(事業報告附属明細書P21 参照)

エ) 防災・災害時支援事業の実施 (県補助事業 3/4)

大規模災害時に、災害弱者となりやすい外国出身者の不安を取り除き、外国人が防災についての知識を得、実際に体験してみることでいざというときに備える意識を醸成するため、日本語クラスなどを利用して防災学習を実施した。あわせて、地域国際化協会各地域ブロックにおける災害時外国人支援体制の要となる人材育成のための研修に参加した。

<防災学習>

東部 (1) J E T オリエンテーションにおける防災セミナー

日時：令和元年8月17日（土）

内容：地震が多い日本の現状と取り組みと注意事項、防災用品の展示・説明

参加者数：25名

(2) 鳥取大学留学生オリエンテーションにおける防災教室

日時：令和元年10月5日（土）

内容：八頭県土整備事務所、鳥大防災ラボとの共催で身の回りの水害や土砂災害に備える意識の醸成を目的に学習会を実施した。

参加者数：61名

中部 外国人のための防災教室

日時：令和元年10月20日（日）

内容：地震のときどうする？台風・大雨を知ろう、救急法やAED使い方体験

協力：倉吉消防署

参加者数：31名

西部 日本語クラスでの防災学習

日時：令和元年10月6日（日）

内容：災害についての話し合い、避難所の確認

協力：米子市防災安全課

参加者数：47名

(事業報告附属明細書P21 参照)

<災害時に外国人支援に従事する関係者向け研修・訓練>

日時：令和元年9月14日（土） 10:30～17:00

場所：高知県人権啓発センター

内容：災害多言語支援センターの役割と東日本大震災での活動についての講義、災害多言語支援センター設置・運営訓練

オ) 多文化共生ポータルサイト運営事業の実施（県委託事業）

30年度に財団ホームページに構築した多文化共生ポータルサイト（災害情報などの「重要なお知らせ」、「せいかつ安心情報」、「多言語相談フォーム」）を運用するために相談内容の翻訳（回答）や情報提供、相談内容に応じた専門機関等との連携を行った。

なお、「多文化共生サポーター事業」については、制度設計等を引き続き行い、令和2年度より運用を始める予定である。

カ) 私費留学生奨学金の支給（県補助事業 10/10）

① 私費外国人留学生奨学金制度

県内の大学・大学院・短期大学等に通学する私費留学生11名に月額2万円の奨学援助を行い、奨学生には「国際交流活動ボランティア」として、当財団や地域の国際交流活動への貢献を促した。

鳥取大学 5名（中国5）、公立鳥取環境大学 6名（中国3、ベトナム3）

② 環日本海交流地域私費外国人留学生奨学金制度

鳥取県の交流地域である韓国江原道、中国吉林省・河北省、ロシア沿海地方、モンゴル中央県、ロシア・ハバロフスク地方出身者を対象に「環日本海交流地域私費外国人留学生奨学金制度」を設け、在県時には地域における国際交流活動への協力を通じて県民

の国際理解促進に貢献し、将来、鳥取県と友好交流地域間の架け橋となり得る人材の育成を図る。なお、当該制度は令和2年度より対象地域を拡大し「鳥取県友好提携・交流地域私費外国人留学生奨学金制度」とする。(第53回理事会議決)

- ・前期 鳥取大学4名(韓国江原道1、中国吉林省2、中国河北省1 4名とも8月に帰国)
- ・後期 鳥取大学4名(韓国江原道2、中国吉林省1、中国河北省1)

キ) 国際交流ボランティア登録制度の運営(自主事業)

通訳、翻訳、日本語教育、交流活動、ホームステイ、ホームビジット、ホストファミリーのボランティア登録制度を運営し、公的機関や民間団体等の要請に応じて活動の場を紹介することで、県民のボランティア活動を推進した。

分野	活動実績
通訳・翻訳	6名
日本語教育	126名
交流活動	37名
ホームステイ・ビジット	23家庭
ホストファミリー	5家庭

ク) 多文化共生フォーラムの実施(県委託・補助事業)

平成31年4月の改正入管法施行に伴い、増加する外国人住民との共生が日本社会全体の課題となってきたことで、多文化共生に対する県民の意識も高まってきている。この機会に、多文化共生の浸透を図るとともに、より身近な課題として、多くの県民が我が身のこととして捉えるきっかけづくり、担い手となる意識醸成のための「多文化共生フォーラム」を開催した。

日時：令和2年2月16日(日) 13:30~16:30

場所：米子市文化ホール メインホール

内容：基調講演「出会いこそ生きる力」～夢をつなぐ心をつなぐ～

講師 女優 サヘル ローズさん

パネルディスカッション「外国人とともに暮らす～今とこれから」

ファシリテーター・まとめ

(一財)ダイバーシティ研究所 代表理事 田村 太郎氏

パネリスト

石破 バージニアさん(八頭町在住)

ラメンスカヤ アナスタシアさん(倉吉市在住)

井岸 昌世さん(米子市在住)

来場者：250名

(事業報告附属明細書P22参照)

イ 担い手となる人材の育成

ア) 専門通訳ボランティア育成事業の実施(県委託事業)

言語及び医療の専門知識、対人援助能力など医療通訳ボランティア登録者としてのさらなる資質向上を目指したフォローアップ講座を開催した。また、登録者の自発的な活動を促進するため、勉強会や意見交換会の会場確保や講師の派遣費用を負担するなど側面的な支援を行った。

<専門通訳フォローアップ講座>

日時：令和2年2月24日（月・祝） 13:00～16:00

場所：伯耆しあわせの郷 研修室

内容：医療通訳基礎講義、医療通訳事例紹介、医療通訳実習（英語・中国語にわかれてロールプレイ）

講師：（一社）通訳品質評議会理事 藤井 ゆき子氏

（株）ブリックス事業本部グローバルソリューション部副部長 高 柏氏
 受講者数：36名（英語24名、中国語9名、ベトナム語・モンゴル語・韓国語各1名）
 （事業報告附属明細書P22～23参照）

<自発的活動促進支援>

東部地区（英語）自主勉強会

場所等：県民ふれあい会館研修室 毎月1回月曜日に開催。

講師：マリナー翻訳サービス 代表 シェリー メガリーさん

	日 時	内 容	人数
1	平成31年4月15日(月) 13:30～15:00	整形外科ロールプレイ（前十字靭帯損傷）、 次回ロールプレイ単語ピックアップ	8名
2	令和元年5月20日(月) 13:30～15:00	整形外科ロールプレイ（手首の骨折）、踵骨 棘・膝関節滑液包炎の単語ピックアップ	9名
3	令和元年6月17日(月) 13:30～15:00	メモ取りの記号について、整形外科ロールプ レイ（頸部節挫傷）、クイックレスポンス	8名
4	令和元年7月8日(月) 13:30～15:00	食あたりと食中毒の違い、問診票記入ロール プレイ、クイックレスポンスと単語調べ	7名
5	令和元年8月19日(月) 13:30～15:00	初診時の会話のクイックレスポンス、ウルト ラマラソンのビデオ視聴～メモ取りと黙読	9名
6	令和元年9月9日(月) 13:30～15:00	コラム「ヨーグルトではだめ？」の日本語を ペアで英訳、「喉に骨が刺さったら」のクイ ックレスポンス	6名
7	令和元年10月21日(月) 13:30～15:00	「喉に骨が刺さったら」の通訳練習、入院の 流れロールプレイ	6名
8	令和元年11月18日(月) 13:30～15:00	「経鼻的胃内視鏡検査」の英文を読んで単語 ピックアップ・ペアでロールプレイ、音声を 聞いて通訳	7名
9	令和元年12月16日(月) 13:30～15:00	リプロダクションと通訳ワーク、「がん5年 生存率について」の英文記事の通訳ワーク、 メモ取りの記号	9名
10	令和2年1月27日(月) 13:30～15:00	「がん5年生存率」の翻訳配布、コロナウイ ルス記事のリスニングと通訳ワーク	9名
11	令和2年2月17日(月) 13:30～15:00	眼科検診	7名
12	令和2年3月16日(月) 13:30～15:00	コロナウイルスニュースのリスニング・関連 用語ピックアップ・ロールプレイ	11名

イ）日本語講師・ボランティア養成講座の実施（県補助事業3/4）

地域の日本語教育の中核となる人材及び日本語教育ボランティアのスキルアップを目的とする研修会を開催した。

<東部会場>

日時：令和元年8月3日（土）、18日 13:00～16:00

場所：鳥取市高齢者福祉センター

内容：「いっぽ にほんご さんぽ 暮らしのにほんご教室初級1・2」の教え方

講師：宿谷 和子氏（にほんごの会企業組合所属日本語教師）

天坊 千明氏（にほんごの会企業組合所属日本語教師）

受講者数：33名

<中部会場>

日時：令和元年8月4日（日）13:00～15:30

場所：伯耆しあわせの郷

内容：「いっぽ にはんご さんぽ 暮らしのにはんご教室初級3」を使ったテキストの
効果的な活用方法と初級学習者の発話を促す方法、テキストを使った模擬授業

講師：宿谷 和子氏（にはんごの会企業組合所属日本語教師）

受講者数：26名

<西部会場>

日時：令和元年9月14日（土）、15日（日）13:00～16:00

場所：米子コンベンションセンター

内容：日本語支援者としての心得、最低限知っておきたい文法知識や句型学習からコ
ミュニケーションへ繋げる活動について

講師：津田 訓江氏（公益社団法人国際日本語普及協会所属日本語教師）

受講者数：27名

（事業報告附属明細書 P24～26 参照）

ウ) 通訳ボランティアスキルアップ講座の実施（県委託事業）

平成30～令和2年にかけて県内で国際スポーツ大会やキャンプが開催され、多くの外国人選手・関係者の来県が予定されている。本県として万全のおもてなしができる受入体制の構築に向けて、スポーツ大会における通訳ボランティアの役割・異文化コミュニケーション・各競技の基礎知識などを習得していただくことで、大会やキャンプにおける各場面での通訳リーダーとなる人材の育成を目指すことを目的とするスキルアップ講座を29年、30年に続いて開催した。今年度は、2019 レーザー級世界選手権大会での活動等に向けて、より実践的な内容とするとともに、中東部会場については英語に加えて、中国語と韓国語の通訳人材の養成を行った。

<西部会場> 受講者数 37名

第1回 日時：令和元年6月8日（土）10:30～16:00

場所：境港公共マリーナ、境港市水木しげるロード

内 容	講 師
・鳥取県内で開催される大規模スポーツ大会の概要	鳥取県スポーツ課
・2019 レーザー級世界選手権の概要と競技説明、会場案内	2019 レーザー級世界選手権大会事務局コーディネーター 磯辺 君江氏
・水木しげるロードで実地研修	フリーランス翻訳・通訳 澤田 晶子氏

第2回 日時：令和元年6月16日（日）11:00～16:30

場所：米子コンベンションセンター

内 容	講 師
国際スポーツ大会で通訳者に必要なこと、外国文化への理解、英語ロールプレイ	マリーナ英語サービス主宰 シェリー メガリー氏

第3回 日時：令和元年6月23日（日）10:30～16:00

場所：米子コンベンションセンター

内 容	講 師
実際に通訳を行う際の心構えと立ち位置、音声改善・ディクテーション・シャドーイング、メモ取り・リプロダクション・日英通訳技術向上、サイトトランスレーション、英日通訳実践	（一社）ひろしま通訳・ガイド協会 畝崎 雅子氏

<中・東部会場> 受講者数 41名

第1回 日時：令和元年12月7日（土）10:30～16:00

場所：伯耆しあわせの郷

内 容	講 師
・ワールドマスターズゲームズ 2021 関西の概要説明 ・国際スポーツ大会での通訳ボランティアのあり方	県スポーツ課 (一社) ひろしま通訳・ガイド協会 畝崎 雅子氏
・言語別（英語・中国語・韓国語）演習	(一社) ひろしま通訳・ガイド協会 英語 畝崎 雅子氏 中国語 近藤 春美氏 韓国語 李 京子氏

第2回 日時：令和元年12月14日（土）9:30～17:00

場所：県中部総合事務所～白壁土蔵群～三徳山三佛寺～県中部総合事務所

内 容	講 師
実地研修 白壁土蔵群、三徳山三佛寺での演習 ふりかえり	英語 フリーランス翻訳・通訳 澤田 晶子氏 中国語 鳥取大学教育センター 准教授 崎原 麗霞氏 韓国語 フリーランス翻訳・通訳 星山 慶子氏

第3回 日時：令和2年1月11日（土）10:30～15:30

場所：高齢者福祉センター

内 容	講 師
・東京オリンピック、パラリンピック競技大会ジャマイカチーム合宿説明 ・国際スポーツ大会、キャンプ合宿で通訳ボランティアに必要なこと、演習・アクティビティ	県スポーツ課 マリナー英語サービス主宰 シェリー メガリー氏

(事業報告附属明細書 P26 参照)

エ) 外国人技能実習生への日本語支援者養成講座の実施（県委託事業）

外国人就労者、企業とも日本語学習へのニーズは強いものの、日本語を教えられる講師が不足していることから、複数企業等が集合して行う外国人就労者向けの日本語学習会（業務知識、技能検定のための日本語の習得など）の講師となる人材を養成する講座を、県の委託を受けて実施した。

日時：令和元年12月1日（土）、7日（土）、8日（日）13:30～16:30

場所：米子コンベンションセンター

内容：技能実習生に日本語を教えるために必要なこと、業種をふまえた教え方や演習。

講師：新野 佳子氏（公益社団法人国際日本語普及協会所属日本語教師）

遠藤 久美子氏（公益社団法人国際日本語普及協会所属日本語教師）

受講者数：32名

(事業報告附属明細書 P27～28 参照)

(3) 世界につながる県民の国際理解・国際協力推進

ア 国際理解推進事業

ア) 米国バーモント州との青少年交流促進事業の実施（県補助事業 10/10）

平成30年7月に鳥取県とバーモント州政府が姉妹提携協定書に調印したことを機に、NPO法人 Green Across the World（略称：GATW）と「環境学習を通じた青少年交流」に関する協定を締結し、今後さらに強固な体制で国際的視野をもった青少年の育成を図るとともに、鳥取県と米国バーモント州とのさらなる交流を促進するため、同州の高校生を県内に受け入れ、鳥取県の自然・歴史・文化などの体験プログラム、ホームステイ、高校の授業参加などを行った。また、公募により選考した県内の高校生をバーモント州に派遣し、ホームステイを通じて生きた英語に触れながら文化や生活習慣を学び、現地の高校生と共に環境学習や米国の学校生活を体験するなどの相互交流事業を展開した（派遣事業については、令和元年度より参加者より一部負担金を徴収して実施）。

併せて、より多くの県民に成果を発表する機会として、県及びとっとり青友会との共催で、海外交流派遣事業合同報告会を実施した。

<受入事業>

- 受入期間 令和元年4月21日～29日（9日間）
- 受入人数 10名（生徒6名、引率4名）

<派遣事業>

- 派遣人数 15名（応募者総数35名）及び引率5名
鳥取東高1、鳥取西高2、鳥取商高1、倉吉東高1、米子東高2、境高1、鳥取敬愛高1、鳥取城北高1、青翔開智高2、米子北高1、米子松陰高1、米子高専1（男子1、女子14）
- 派遣期間 令和元年10月18日～29日（12日間）

<鳥取県海外交流事業派遣者報告会>

日時：令和2年1月19日（日） 14:00～16:00

場所：エキパル倉吉 多目的ホール

内容：内閣府青年交流事業報告（日本・韓国青年親善交流事業、地域課題対応人材育成事業・オランダ派遣）、鳥取県・バーモント州青少年交流事業報告
来場者数：40名

（事業報告附属明細書 P28 参照）

イ 国際協力推進事業

ア) 県費留学生・研修員等の受入（県委託事業）

鳥取県と関係の深い国々の将来を担う青年を「県費留学生」または「海外技術研修員」として招へいし、必要な技術を習得、研究することで母国の発展に大きく寄与する人材となるよう養成し、併せて県民との友好親善の担い手となることを目的に、受入にかかる研修機関との連絡調整や生活支援等の業務を行った。

<鳥取県・江原道職員相互派遣研修生受入事業>

氏名	金 鐘哲（キム ジョン Chol）
国籍	韓国（江原道）
区分	鳥取県・江原道職員相互派遣研修員
研修期間	1年
研修科目	環境・通商分野
研修機関	県生活環境部環境立県推進課ほか

(4) 山陰・夢みなと博覧会
記念基金を活用した県
民主体・参加型国際交
流事業

<自治体職員協力交流事業>

氏名	朴 正林 (ピャオ ジョンリン)
国籍	中国 (吉林省)
区分	自治体職員協力交流研修員
研修期間	10 ヶ月
研修科目	商工行政・国際行政
研修機関	県商工労働部・観光交流局、生活環境部

<ブラジル交流促進事業>

氏名	イシハマ スズキ カロリーネ
国籍	ブラジル
区分	県費留学生
研究期間	11 ヶ月
研究科目	遺伝子医療学
研究機関	鳥取大学医学部

ア 基金による助成事業

県民参加型の地域の国際化に資する交流事業を支援するための助成制度を運営した。

ア) 民間国際交流・協力事業に対する助成

県内に拠点をおく民間交流団体等が実施する県民参加型の地域の国際化に資する国際交流・協力事業に対し、事業にかかる直接的な経費を同一年度内に一団体あたり合計で300万円(青少年事業を含む場合は500万円)を上限に助成した。

16事業(11,472千円)

イ) 海外教育旅行に対する助成

本県の将来を担う児童・生徒の国際性豊かな資質の醸成と、山陰唯一の国際定期便である米子ソウル便・香港便・上海便及び環日本海定期貨客船の利用促進に資するものとして、県内の小・中学校、高等学校等が実施する海外への教育旅行に対し、経費の一部を助成。(パスポート(5年)相当分の半額として5,500円を全員に交付。ただし、米子ソウル便・香港便・上海便及び環日本海定期貨客船を利用した場合には、1万円を上乗せして交付。)

9事業(3,332千円)

(事業報告附属明細書P29~32参照)

イ 基金による県民参加型交流事業

ア) 子どものための異文化理解体験講座の実施

小学生を対象に、多言語による歌やダンス、遊びやゲームの体験などさまざまな国の文化に触れる機会を提供することを目的に実施した。(6~11月にかけて順次開催)

<東部>鳥取養護学校、倉田小、若葉台小、湖山西小、散岐小、八東小、若桜学園小、
瑞穂小 計8校

<中部>三朝小、関金小、赤碕小、船上小、浦安小、西郷小、北谷小 計7校

<西部>中山小、成実小、尚徳小、加茂小、上道小、明道小、弓ヶ浜小、福生東小
計8校

(事業報告附属明細書P32~33参照)

イ) 国際交流フェスティバルの実施

広く県民と在住外国人との協働による異文化理解を促進するため、現在県内三地区で開催されている民間団体主催の国際交流フェスティバルを共催で実施。

＜東部＞第31回タイムフェスティバル」

令和元年10月14日（月・祝）於 とりぎん文化会館 来場者数1,800名

＜中部＞「くらし国際交流フェスティバル2019」

令和元年11月24日（日）於 伯耆しあわせの郷 来場者数1,000名

＜西部＞「よなご国際交流フェスティバル2019」

令和元年9月22日（日） 於 米子市文化ホール 来場者数1,600名

（事業報告附属明細書P33参照）

ウ) 多文化共生ネットワーク連携事業

平成28年度より、外国人コミュニティや社会活動に積極的に参画している在住外国出身者を主たるメンバーとする「多文化共生ネットワーク会議」を県内三地域で組織し、定期的に意見を交換するとともに、必要な取り組みを企画し、協働で実施するなど、外国人住民目線で「必要なこと」を実現していくことに取り組んでいる。昨年度開設した「多文化共生ポータルサイト」の翻訳を担当するなどの運営補助のほか、地域における多文化共生推進のための多文化共生出前講座や協働事業を実施した。

＜多文化共生ネットワーク会議＞

全体会議：11月2日（土）10:00～12:00 於 伯耆しあわせの郷

議題：4月に開設した外国人相談窓口の状況、協働事業について

＜多文化共生出前講座＞

主にネットワーク会議委員や財団職員を講師とする多文化共生出前講座を、要請に応じて派遣した。（受講者数 887名）

	日 時	派遣先	内容及び講師名
1	令和元年6月7日(金) 10:30～12:00	県立倉吉総合看護専門学校	「鳥取県で暮らす外国人の現状と支援について考える」 アバ 山田マリアル伊氏（財団理事・多文化共生ネットワーク会議委員）
2	令和元年7月24日(水) 19:30～21:00	琴浦町八橋地区公民館	「多文化共生と新在留資格制度について」 荒砂 茂徳（財団総括マネージャー）
3	令和元年7月31日(水) 13:30～14:40、15:10～16:20	県西部総合事務所	「外国人の人権と多文化共生」 グエン ギ（財団コーディネーター）
4	令和元年8月1日(木) 13:30～14:40、15:10～16:20	県西部総合事務所日野振興センター	「言葉（母語）と文化について」 川口斐斐氏（財団理事・多文化共生ネットワーク会議委員）
5	令和元年9月4日(水) 10:30～12:00、13:00～14:30	県子育て・人財局	「多文化共生～鳥取県で暮らす外国人からの視点」アバ 山田マリアル伊氏（財団理事・多文化共生ネットワーク会議委員）
6	令和元年9月12日(木) 17:30～18:30	県立中央病院	「多文化共生～鳥取県で暮らす外国人からの視点」アバ 山田マリアル伊氏（財団理事・多文化共生ネットワーク会議委員）
7	令和元年10月2日(水) 13:30～15:00	倉吉人権擁護委員協議会	「多文化共生と新在留資格制度について」 荒砂 茂徳（財団総括マネージャー）
8	令和元年10月8日(火) 15:30～16:50	米子市学校教育課（小中学校人権教育研修）	「私はこうして日本社会に溶け込んだ～たくさんの人に支えられて～」 林 祖財氏（多文化共生ネットワーク会議委員）
9	令和元年10月26日 (土) 14:00～16:00	NPO 鳥取社会生活サポートセンター	子どもと外国人の人権を考えるシンポジウム パネリスト 川口斐斐氏（財団理事・多文化共生ネットワーク会議委員）
10	令和2年3月26日(木) 13:30～14:30	倉吉市（第2回国際理解講座）	「地域における多文化共生の取組について」荒砂 茂徳（財団総括マネージャー）

<協働事業>

「みんなで交流 in よなご」

鳥取県内に住む在住外国人が一堂に会して、食文化の体験と交流とともに、多文化共生フォーラムでは講演やパネルディスカッションを通じて、地域の多文化共生について学び考える機会とした。ネットワーク会議メンバーが運営に携わり、フォーラム会場のロビーでは、ネットワーク会議のこれまでの活動紹介等のコーナーを設け、一般来場者とも交流を深めた。

日時：令和2年2月16日（日）

内容：（1）11:00～12:00

「日本料理を作って、食べよう」（カラフルカップライス、みそ汁団子）

協力：鳥取県栄養士国際交流同好会

場所：ヴィレステひえづ（西伯郡日吉津村日吉津）

（2）13:30～16:30

「多文化共生フォーラム in よなご」

場所：米子市文化ホール メインホール

参加者数：97名

法人管理
会議等開催状況

評議員会

(1) 第27回評議員会

令和元年5月31日（金）13:55～15:40 とりぎん文化会館2階「第4会議室」

議決事項

第1号議案 議事録署名人の選出について

第2号議案 平成30年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録の承認について

第3号議案 評議員の選任について

第4号議案 理事の選任について

第5号議案 公益財団法人鳥取県国際交流財団役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の変更及び常勤の理事（常務理事）の報酬等の額の決定について

報告事項(1) 平成30年度事業報告及びその附属明細書について

報告事項(2) 公益財団法人鳥取県国際交流財団就業規程の変更について

(2) 第28回評議員会

令和元年8月27日（火）13:55～15:10 鳥取県庁第二庁舎9階「第21会議室」

議決事項

第1号議案 評議員長の選任について

第2号議案 議事録署名人の選出について

第3号議案 定款の変更について

第4号議案 評議員に対する報酬等の支給の基準について

第5号議案 公益財団法人鳥取県国際交流財団役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の変更及び理事長、理事、監事の報酬の額の決定について

第6号議案 理事の選任について

報告事項(1) 外国人相談窓口の運用状況について

報告事項(2) 令和元年度山陰・夢みなと博覧会記念基金助成事業について

(3) 第29回評議員会（決議の省略による）

令和2年5月31日

議決事項

第1号議案 理事の選任について

報告事項 令和2年度事業計画及び収支予算等について

理事会

(1) 第48回理事会

令和元年5月14日（火）13:00～14:30 鳥取県庁第二庁舎9階「第21会議室」

議決事項

第1号議案 平成30年度事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について

第2号議案 定時評議員会の招集について

第3号議案 公益財団法人鳥取県国際交流財団私費外国人留学生奨学金支給要綱の変更について

(2) 第49回理事会（決議の省略による）

令和元年5月31日

議決事項

第1号議案 副理事長並びに常務理事の選定について

第2号議案 平成31（令和元）年度収支予算の補正について

第3号議案 公益財団法人鳥取県国際交流財団就業規程の変更について

(3) 第50回理事会

令和元年8月9日（金）14:00～14:55 鳥取県庁第二庁舎9階「第20会議室」

議決事項

第1号議案 臨時評議員会の招集について

報告事項(1) 外国人相談窓口の運用状況について

報告事項(2) 令和元年度山陰・夢みなと博覧会記念基金助成事業について

(4) 第51回理事会（決議の省略による）

令和元年10月1日

議決事項

第1号議案 理事長の選定について

第2号議案 令和元年度事業計画の変更及び収支予算の補正について

第3号議案 山陰・夢みなと博覧会記念基金助成金交付要綱の変更について

第4号議案 山陰・夢みなと博覧会記念基金海外教育旅行助成金交付要綱の変更について

第5号議案 山陰・夢みなと博覧会記念基金事業促進委員会運営要綱の変更について

(5) 第52回理事会

令和元年11月26日（火）16:00～17:45

議決事項

第1号議案 令和元年度事業計画の変更及び収支予算の補正について

報告事項 令和元年度職務執行の状況について

(6) 第53回理事会

令和2年3月13日（金）14:00～15:40

議決事項

第1号議案 令和2年度事業計画及び収支予算等について

第2号議案 臨時評議員会（決議の省略による）の招集について

第3号議案 公益財団法人鳥取県国際交流財団就業規程の変更について

第4号議案 公益財団法人鳥取県国際交流財団環日本海交流地域私費外国人留学生奨学金支給要綱の変更について

(7) 第54回理事会（決議の省略による）

令和2年3月31日

議決事項

第1号議案 事務局長の解任及び選任について